

津島市都市計画マスタープラン等策定委員会（第1回）議事録

1. 日時 : 令和元年10月31日（木）午前9時30分～
2. 場所 : 4階大会議室
3. 出席委員 : 8名（欠席2名）、オブザーバー3名
4. 事務局 : 早川建設産業部長、山本参事
角田課長、松尾統括主任、伊藤技師、加藤技師

5. 議事内容 :

- (1) 委員長及び副委員長の選出について
- (2) 津島市都市計画マスタープラン等の策定について
- (3) 次期津島市都市計画マスタープランについて
- (4) 今後のスケジュールについて

6. 議事概要 :

(1) 委員長及び副委員長の選出について

- ・互選により、松本委員が委員長に選出された。
- ・松本委員長より、副委員長に鶴田委員が指名された。鶴田委員は欠席のため、事務局からその旨を連絡することとした。

(2) 津島市都市計画マスタープラン等の策定について

委員長 : 策定中である第5次総合計画は、現在どのような策定段階か。また、都市計画マスタープランに関わる内容はできてきているのか。
立地適正化計画に対するもう一つの両輪として地域公共交通網形成計画があるが、今後策定を検討していく予定はあるのか。

事務局 : 第5次総合計画は来年度の公表に向けて取り組んでおり、現在は第4次総合計画の検証を行っている段階となっている。今後人口減少や市民意向調査結果などを踏まえて内容を検討していくことになる。
地域公共交通網形成計画は企画政策課が担当になるが、市民意向調査結果を踏まえながら計画策定に向けて考えていかなければならないと思っている。

委員 : 商業などのための道路整備も必要だと思うが、急いで通行しなければならない車両が通れるように医療の視点でつくるべき道路があると思う。

委員 : まちづくりに関わっている市民は2つに分かれると思う。高齢の方は将来のビジョンをもってやっている人は比較的少ないが積極的に活動されている方が多い。一方、若い人はどうしていいかわからない状況にある。これからどのような魅力を発信していけるかが重要になるので楽しくなるようなビジョンをつくっていくことも必要だと思う。

委員長 : 人生100年時代を迎えているので、高齢者の方もビジョンをもってやってほしいと思う。

(3) 次期津島市都市計画マスタープランについて

【現行計画の達成度検証（案）及び上位・関連計画の整理（案）】

委員 : 達成度検証では満足度が目標値を全く達成できていないのがみられ、特に歴史や交通ネットワークに関わる満足度が低い状況にあるが、それに対する評価は行っている

のか。

事務局： 各指標の現況値は時点がバラバラになっており、中間の評価になっている。歴史に関わる満足度が低いのは、歴史が息づく地域が津島駅の西側であり、市全体での印象としては実感できなかったのではないかと考えている。また、交通ネットワークについては、投資的経費が縮小されており、整備が進まなかったことが要因となっていると考えている。

【都市づくりの課題（案）】

（①人口・世帯数に関する現況特性と課題）

委員長： 若者世代が転出していることについては現況特性の把握で整理されているが、高齢化が進む中においては高齢者が転出しているかどうかの動きについても整理する必要がある。

年齢5歳階級別・男女別動態のグラフをみると、特に若い女性の転出が多いが、その要因について考えられることはあるか。

委員： 女性の働く場所は市外が多く、結婚などを期に転出しているのではないかと思う。

委員： 自分の娘に津島市の高校を薦めなかった原因を考えると、知見を広げてもらいたいということもあったが、津島市に魅力がなかったからではないかと思う。

委員長： 女性にとっての職場、サービス機能の充実や子育て、教育環境の充実が必要なんだろうと思う。

委員： 商工会議所の職員に話を聞いたことがあるが、子育て環境や医療費に他と差があるため転出したということだった。計画検討にあたっては女性の視点が重要だと思う。

委員： 生活しやすさとは別に結婚年齢が遅くなっていることなどもあるのでデータをみたほうがよいと思う。

委員長： 若い世代にとっての魅力というと住宅供給も重要なことだと思う。

委員： 生活しやすい環境を見直す必要があると思う。

委員： 津島市のマイナスイメージを打ち消すものを打ち出していくことが必要だと思う。

事務局： 福祉や教育の部分が親目線では重要視されている。また、歴史・文化のような魅力といったものをあわせて分析していきたいと思っている。

委員： 昔から住宅がある土地は、地盤が安全なのでそういったところに住むことが重要だと思う。

委員長： 防災に対して取り組んできた歴史はうちだしていったよいと思う。

（②産業に関する現況特性と課題）

委員長： 小売吸引力をみると、あま市が低い数字になっているが名古屋市のほうに買い物に行っているのか。

事務局： 名古屋市のほうに行っていると思うが、今後パーソントリップ調査などを活用して分析していきたい。

委員： 小売吸引力が他市と比較して高いということだが、商業地の地価が下がっていることなどを考えると、単に小売業のデータをみるだけでよいかどうかはわからない。

事務局： 商業の業態についても踏まえながら分析を進めていきたい。

委員長： 今後、物流拠点の位置づけについても検討するとよいと思う。

委員： 農業については食材が安く買えたり、作った作物をご近所さんに分けたりすることも。農家と非農家をつなぐコミュニティ形成にもつながることは津島市の魅力だと思う。

- 事務局： 食材が安く提供できたり、コミュニティ形成につながるといったことが強みであることについても考えていきたい。
- 委員： 津島市は名古屋から近いので、安く作物を運ぶことができる。また、収穫体験も行われており、名古屋と結ぶということは良いことだと思う。

(③土地利用に関する現況特性と課題)

- 委員： 準工業地域が津島駅の近くにあり、商業用地が多くなってきているが、駅を中心としたコンパクトシティの形成を考えると、準工業地域の建蔽率、容積率で十分かどうかは検討する必要があると思う。
- 委員： インフラ整備について、市街地と農業地域で考え方が違ってくると思う。
- 事務局： 駅周辺の都市基盤は古く、もともとは毛織産業で栄えたこともあり昭和27年から下水道整備が行われている。今後、土地利用とインフラを重ね合わせながら分析を進めたい。

(④都市施設に関する現況特性と課題)

- 委員： 主観だが津島市の市街地はあまり緑が多いように感じられないと思っている。市街地内の緑のつくりかたや水と緑のネットワークについても検討するとよいと思う。
- 委員長： 緑の位置づけはグリーンインフラなどを活用したり、防災の観点からも変わってきているので検討するとよいと思う。また、公園については、見直しが必要と記述してよいと思う。

(⑤市街地整備に関する現況特性と課題)

質疑応答・意見なし

(⑤交通に関する現況特性と課題)

- 委員長： 渋滞の緩和という視点での課題はどのように考えているか。企業誘致の観点も関わる内容だと思う。
- 事務局： 西尾張中央道で渋滞が発生しているが、対応としては道路を拡幅するのではなく、ネットワークを形成することで渋滞の緩和を図ることを考えている。また、南北の交通として、一宮西港線の整備について要望を行っていく。

(⑥防災に関する現況特性と課題)

- 委員： 防災に対する協力を目的とする農地の予定はないか。
- 事務局： 今後、浸水想定区域と農地を重ね合わせ、これにより仮設住宅用地の検討などにつなげていきたいと考えている。

(⑦財政に関する現況特性と課題)

- 委員長： 固定資産税を増やしていくためには中心市街地の集積を進めながら土地の魅力を伸ばしていくことが必要になる。また、コンパクト・プラス・ネットワークのコンパクトの中には固定資産税を増やすという意味も含まれる。それに向けて投資を行い、地価が上がって固定資産税が増えるという絵が描けるとよい。また、今後のインフラの維持管理費、あるいは施設の更新を効率的にやってコストを削減していくことや市民参加や民活によって財政負担を軽減していくことも必要である。

(その他)

- 委員長： 市民協働は仕組みという意味で今後重要だと思っているが、市民協働については資料の中でちりばめられているという理解でよいか。次のマスタープランでは市民の方々に見える形にしていくとよいと思う。

事務局： 市民協働の内容については中にちりばめられている。

委員長： 現況からではなく、将来考えられる課題として、公共空間を民間の方々に活用してもらい経済活動ができるような公共空間を生み出すといったことも必要な視点だと思う。

(4) 今後のスケジュールについて

- ・ 次回の委員会を令和2年2月4日（火）14：00から開催する。

以上